夏の思い出　２００９年11月6日

いつもありがとう
部活忙しくて、休みの日ぐらいゆっくりしていたいだろうに……。
毎年一緒に海に行ってくれてありがとう
いつも2人だったね
いつも2人でご飯食べてたね
小さいときから、今まで遊んであげてるなんて一度も思ったことないよ
いつも遊んでくれてありがとう
帰ってきた音がしたら玄関の電気つけてくれてありがとう
優しい人に育ってくれたね
いつも帰ってきたら、どこかに隠れてくれてありがとう
すぐに見つかるときもあるけど、これからもがんばって隠れてね
今までずっと一緒にお風呂に入ってくれてありがとう
みんな5年生ぐらいには入らなくなる人が多いんだって
寝てるとこ見て思ったよ
ベッドがずいぶん小さく見えるね
ずいぶん大きくなったなぁ……。
そろそろお母さんと同じくらいかな

泣いてるときも一緒に泣いてくれた
笑えるときも一緒に笑ったね
いつも海でボディーボードやって波に巻かれて
溺れるぅ〜っ！
って大騒ぎ
大丈夫だよ
絶対にこの手を離したりしない
絶対に
いつかこの手を離して行ってしまう日がくるかもしれないけど
ずっと一緒に遊んでね
これからの一度しか生きれない人生を楽しんで幸せになってね
いつもありがとう
また来年も２人で海に行こうね

—勝浦・鵜原にて—

ブブブ……ブブ……。
ブォーン……。
ゴゴゴ……ブブブ……。
……。
この感覚は何だろう……。
体のまわりが振動している。
なんだか……。
懐かしい感覚だな……。
ん？　何だ？
白い光……。
真っ白な光……。
透き通るような白い光
白
純粋な白ってこんな感じなのかな……。
今まで見たこともないような白
目で見る感覚とは何だか違う白
体で白を感じている
透き通るような白い光に
今

わだすは
包まれている。
わだすは物凄いスピードで飛んでいる……。
ゴゴゴ……。
白い光に包まれて飛んでいる。
……。
ここは……。
どこなんだ？
わだすを包むこの白い光
うーん……。
楕円形？
飲み薬のカプセルの形というか……、おたまじゃくしの
頭のような形……。
目に形が見えてるわけではないけど、そんな形をしてい
るように体が感じている。
わだすは
おたまじゃくしの中にいる。
そして何だろう……。
この心地よさ。

気持ちいい……。
あぁ……。
気持ちいい……。
あぁぁ……、ものっっ凄く気持ちいいっ！
あぁ……、快……感……。
何と言えば……。　ゾクゾク……。
あの……男女が交わる快感の比ではない！
何倍……何十倍……、いや何千倍？
言葉では表現できない快感だ！
ああぁーーッ！
気持ちいいぃーーー！
あぁぁ……。
何なんだ、この気持ちよさは……。
白い光に包まれて飛んでいく
凄い！　あぁ！
こんなのはじめてだ……。
こんな気持ちよさがこの世にあるなんて……。
あぁぁ……。
白い光に包まれて……。

飛んでいく
ゴゴゴ……。
あぁ……幸せだ……。
こんなに気持ちいいと、幸せ過ぎて……。
いろんなことを忘れて
もう……。
死んでもいい……。
……。
ん……？
死んでもいい……？
この世の気持ちよさではない……？
え？
ここは……。
……。
この世ではない？
え？
今、わだすはどこに向かって飛んでいるんだ……？
ゴゴゴゴゴ……。
……。

あの世？
え？　何……？
これは
死……。
この気持ちいい世界は……。
死に向かう途中……？
……。
イヤ、いかんいかん！　死んではいかん!!
まだやりのこしたことがあるんだよ！
物凄いスピードで飛んでいく。
ゴゴゴゴゴ……。
ダメだダメだ！　まだ娘にやらなきゃいけないことがあるんだよ！
まだそっちには行けないんだよ！
ダメだーー！
飛んでいく。
ゴゴ……。
ダメだよー！　まだ娘に……。
戻ってくれー!!

ゴォーン……。
……。
……。
……。
おい……お主……。
……。
……。
おい……。
おいっ！　お主っっ！
!?
フガッ！　ジュル……。
……。
目の前にはいつもの天井……。
……。
夢……？
……。
おい、お主！
死……？
いや、生きてるな……。

うん、生きてる。
おい、お主っ！
う〜ん、しかしあれはいったい何だったんだろう……。
おいーーっっ!!